

Title	第72巻第1号-第6号 総目次 : 昭和54年
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1979
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.72, No.6 (1979. 12)
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19791201-0214

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田学会雑誌 第72巻 第1号～第6号 総目次 (昭和54年)

論 説

	号	頁	通頁
自主管理と市場経済 (2)	1	1	1
戦前わが国経済学研究における社会政策学会の役割 (その一)			
——金井延の思想について——	1	19	19
日本の福祉財政——とくに医療・年金財政現状と将来——	1	36	36
政策ラグのシステムへの影響	1	50	50
戦前わが国経済学研究における社会政策学会の役割 (その二)			
——桑田熊蔵の社会政策論について——	2	1	111
占領政策の展開——戦後日本資本主義論のために (I)——	2	21	131
ヒルファディングにおける貨幣と信用 (II)——『金融資本論』 分析・序論——	2	52	162
大都市における機械工業零細経営の機能と存立基盤			
——東京都城南地域の場合——	2	69	179
<生産と消費の矛盾> について——『I部門の不均等的拡 大』の意義を中心に——	2	102	212
人口希薄国の労働余剰——黒アフリカの事例	3	1	273
福祉財源としての租税と社会保険料の選択	3	18	290
多意写像の凸性について (その1)	3	36	308
企業の貢献と参入の最適条件——効率価格と利潤——	3	63	335
第一次大戦後における労資関係の形成と労働運動の展開			
——ストライキ団体から労働組合への模索——	4	1	405
Aumann-Perles の変分問題およびその拡張について	4	18	422
リカードウ分配理論と「不変の価値尺度」(I)			
——1819—20年の手紙を検討して——	4	26	430
多意写像の凸性について (その2)	4	42	446
19世紀末におけるフランスの共済組合 (上)	4	63	467
1920年代における労働組合組織の変遷——横断組合から 縦断組合へ——	5	1	559
外部経済・公共財と企業の参入	5	17	575
リカードウ分配理論と「不変の価値尺度」(II)			
——1819—20年の手紙を検討して——	5	28	586
イギリス工場法思想の源流 (その1)			
——工場監督官レナード・ホーナーの思想について——	5	45	603
19世紀末におけるフランスの共済組合 (下)	5	62	620
わが国の将来人口推計——昭和53年安川推計——	6	1	663
第一次大戦後から昭和恐慌期にかけての労働政策の 変遷と労働運動 (その一)	6	43	705
家計の労働供給の一般理論について——供給確率と就業 の型の決定機構——	6	58	720
経済発展の構造分析 (一)——構造変化を含むレオ ンテイェフ動学体系——	6	84	746
多意写像の凸性について (その3)	6	113	805

資料・研究ノート

地理学の理論に関するノート (3)	高橋潤二郎	1	76	76
家計の資産保有と貯蓄率の変動 (II)—— <small>最近の我が国の貯蓄動向について</small> ——	辻村和佑	1	84	84
開発政策における技術と商品	高梨和紘	2	118	228
地代の正常な形態について	寺出道雄	2	128	238
ビエツラ地方における毛織物業労働者の運動 ——イタリア労働運動史の一局面, 1877~1901年——	横山隆作	2	139	249
予想の分散と一時的均衡	吉田真理子	2	149	259
回帰分析の性格	佐藤保	3	75	347
コンパクト集合族の位相に関する覚え書	丸山徹	3	87	359
多価写像の連続性	丸山徹	3	98	370
劣微分と共役関数	渡部隆一	4	94	498
現段階における農民層分解についての一考察 ——畜産大規模経営の性格規定をめぐって——	佐藤鉄郎	4	102	506
テューダー・ステュアート前期のイギリス毛織物工業 ——研究史的考察——	米山秀	4	119	523
イギリス・ウォリック大学の Modern Records Centre 所蔵資料	松村高夫	4	133	537
家計の資産保有と貯蓄率の変動 (III)—— <small>所得・物価の上昇による効果</small> ——	辻村和佑	5	80	638
鉄鋼産業における構造変化の分析	荒木義明	6	143	835
非基礎財の価格について	細田衛士	6	155	847
墨田区金属プレス加工零細経営の分析 (上)—— <small>統計分析</small> ——	渡辺幸男	6	167	859

学 界 展 望

アジア地域における労使関係の現状

——労使関係研究協会および日本労働協会主催, 1979年

「アジア地域労使関係会議」(第8回)に出席して——	飯田 鼎	3	113	385
---------------------------------	------	---	-----	-----

書 評

白井厚著『社会思想史論集』	田村秀夫	1	95	95
飯田鼎著『労働運動の展開と労使関係』—— <small>国際比較研究のために</small> ——	安保則夫	1	96	96
池田信著『日本社会政策史論』	飯田 鼎	1	100	100
Robert, J. Smith, "Kurusu—The Price of Progress in a Japanese Village 1951~1975"	高山隆三	1	102	102
A. デイートン『戦後イギリスにおける需要のモデルと計画』				
T. S. パーカー編『経済構造と政策』	蓑谷千風彦	1	105	105
V. S. ナイポール著, 工藤昭雄訳『インド——傷ついた文明』	飯田 鼎	2	156	266
"Trade Negotiation in the Tokyo Round—A Quantitative Assessment" by William R. Cline, Noboru Kawanabe T.O.M. Kronsjo and Thomas Williams, 1978.	佐々波楊子	2	158	268
安藤英治『マックス・ウェーバー』	飯田 鼎	3	122	394

大内力著『信用と銀行資本』	飯田裕康	3	124	396
A. L. フリードマン『産業と労働』——生産点における階級 闘争と独占資本主義——	渡辺幸男	3	127	399
本郷隆盛・前坊洋・稲田雅洋著『近代日本の思想』(1) ——佐久間象山・福沢諭吉・植木枝盛——	飯田鼎	4	145	549
G. クロスイック著『ヴィクトリア社会の アルティザン・エリート』	松村高夫	4	148	552
常盤政治『農産物価格政策』	花田仁伍	5	89	647
良知力著『向う岸からの世界史——一つの四八年革命史論』	飯田鼎	5	96	654
Royden Harrison, Gillian Woolven, Robert Duncan (eds.) The Warwick Guide to British Labour Periodicals 1790-1970 A Check List	松村高夫	5	98	656
立花雄一著『評伝 横山源之助——底辺社会・文学・労働運動』	飯田鼎	6	179	871
アルバート・ブレトン, アンソニー・スコット著 『連邦国家の経済憲法』1978年	原田博夫	6	181	873
相沢与一著『イギリスの労資関係と国家』——危機における炭鉱 労働運動の展開——	海野恵美子	6	184	876
ヴェアナ・スターク著, 杉山忠平, 杉田泰一訳『宗教社会学』	早川徹	6	187	879